

2025年2月27日

報道機関各位

株式会社岩手銀行

株式会社北日本銀行

第22回「リエゾン－I 研究開発事業化育成資金」の贈呈について
～「いわて産学連携推進協議会（リエゾン－I）」の取り組み～

岩手銀行（頭取 岩山 徹）、北日本銀行（頭取 石塚 恭路）では、両行が参画する「いわて産学連携推進協議会（リエゾン－I）」のおもな活動として取り組んでいる「研究開発事業化育成資金」贈呈事業において、22回目となる今年度の贈呈先を決定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 今年度の贈呈先について

(1) 贈呈先企業

今年度は、6社に対し合わせて800万円の贈呈を行いました。

企業名	代表者	共同研究機関	贈呈金額
(株)バアレン醸造所	鳶田 洋一	農研機構東北農業研究センター	200万円
ONSSI(株)	鈴木 悠地	岩手医科大学	200万円
(株)九戸村総合公社	大久保 勝彦	岩手生物工学研究センター	100万円
(有)バイオケム	村瀬 宜也	一関工業高等専門学校	100万円
Next IWATE	上野 裕太郎	一関工業高等専門学校	100万円
(株)Chaos Edge	佐々木 正人	岩手大学	100万円

※ 贈呈対象となった具体的な事業計画等詳細は、[別紙『第22回リエゾン－I 研究開発事業化育成資金』贈呈先一覧』](#)のとおり

(2) 現在までの贈呈実績

第1回から第22回までの贈呈件数金額は、延べ152件2億800万円となりました。

(3) 贈呈式の開催

2025年2月26日（水）に岩手大学構内（コラボMIU）で開催され、金融機関を代表して岩手銀行岩山頭取より6社の代表者に認定証の授与および目録の贈呈を行いました。

2. 「いわて産学連携推進協議会（リエゾン－Ⅰ）」について

- (1) 大学等の研究シーズ（新たな技術等）と企業の技術・製品開発等のニーズをマッチングさせることにより新事業の創出を図ることを目的に 2004 年 5 月に設立し、現在、3 金融機関と 10 研究機関が参画しています。
- (2) 「リエゾン－Ⅰ マッチングフェア」の開催、岩手銀行と北日本銀行による「リエゾン－Ⅰ 研究開発事業化育成資金」の贈呈等をおもな活動としています。

3. 「リエゾン－Ⅰ 研究開発事業化育成資金」の贈呈について

(1) 創設目的

- ① 企業等が有する技術開発・商品開発のニーズと大学等が有する高度な技術研究成果とを共同研究等を通じてマッチングさせることにより、中小企業の「高付加価値」を通じて「事業の多角化」や「新たなビジネス創出」を積極的に支援するものです。
- ② また、この育成資金を呼び水として、企業等が大学等にある「事業の芽」「技術の種」の事業化に向けた研究開発に積極的に取組むことを期待するものです。

(2) 対象先

- ① 「リエゾン－Ⅰ」に参画している研究機関との共同研究により新たな事業化を目指している企業等で、企業等の所在地域は、岩手県、青森県、秋田県、宮城県とします。
- ② なお、地域の中小企業支援の観点から、証券取引所上場会社およびそのグループ企業等は、原則として応募できません。
- ③ すでに受賞したことがある企業は原則として申請できませんが、つぎの条件を満たす場合のみ対象とします。
 - a 過去に受賞した事業計画の内容と重複していないこと
 - b 過去に受賞した事業がすべて事業化されていること
- ④ 直近期の決算において債務超過でない企業等とします。ただし、創業から 5 年以内の企業については、債務超過でも受付を可とします。

(3) 贈呈金額

- ① 年間贈呈額 1,500 万円を上限とします。
- ② 1 先あたり 200 万円を上限とします。

以 上

IWATE BANK NEWS LETTER

【贈呈式の様子：受賞企業の代表者とリエゾン－I 支援機関との記念撮影】



＜本件に関するお問い合わせ先＞

岩手銀行地域貢献部 森 田 TEL：019-623-1111（代表）
北日本銀行営業統括部 高 橋 TEL：019-653-1111（代表）